キュービクル式発電設備適合チェック表

岡崎市火災予防条例第14条第２項及び同条第３項関係

消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式のもの

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | 項　　目 | 申請機器 | 適合 |
| 外　　　箱 | 材料 | 鋼板又はこれと同等以上の防火性能を有するものか | 材料　[　　　　　] |  |
| 板厚 | 1.6ｍｍ（屋外用2.3ｍｍ）以上か | 板厚　[　　　　　] |  |
| 開口部 | 防火戸（網入ガラスは不燃材料で固定）以上か | 開口部[　　　　　] |  |
| 外部露出設置可能機器 | （屋外用は雨水防水措置） | 各種表示灯 | カバー材は難燃材料以上か | カバー材[　　　　] |  |
| 冷却水の出し入れ口及び各種水抜き管 |  |  |
| 燃料及び始動用空気管の出し入れ口 |  |  |
| 内燃機関の息抜き管、排気筒及び消音器 |  |  |
| 上記のほか、配線の引出口、換気口及び換気設備以外の露出機器はないか | その他の露出機器[　　　　　　　　] |  |
| 配線 | 引出口は、金属管又は金属製可とう電線管（２種金属製可とう電線管に限る。）を容易に接続可か | 接続[可・否] |  |
| 隙間 | 直径10㎜の丸棒の入る隙間がないか（引出口、換気口等含む） | 最大隙間[　　　　] |  |
| 排気筒及び消音器 | 屋外に通じる有効な排気筒及び消音器が容易に取り付けられるか |  |  |
| 内燃機関及び発電機 | 収納する部分は不燃材料で区画し、遮音措置されているか |  |  |
| 防振ゴム等振動吸収装置の上に設けられているか |  |  |
| 固定 | 外箱は、床に容易に、かつ堅固に固定できる構造か |  |  |
| 電線等は断熱処理を行い、固定されているか |  |  |
| 収納状態 | 内燃機関、発電機、制御装置等の機器は、外箱の底面から10cm以上の位置か | 底面から[　　　㎝] |  |
| 換気設備 | 全般 | 空気の流通が十分に行えるものか | 自然換気[可・否] |  |
| 開口部 | 自然換気口の開口部分面積は１の面につき１/３以下か | 開口部面積[　　　] |  |
| 機械式 | 自然換気不足の場合は、機械式換気設備を設置しているか | 機械式[有・無] |  |
| 換気口 | 換気口には金網・金属製ガラリ又は防火ダンパーを設置か | 設置[有・無] |  |
| 備考 |  |

以上のとおり、岡崎市火災予防条例第13条第１項第３号及び同条第２項に規定する「消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式のもの」の要件を全て満たしていることを証明します。

　　年　　月　　日

キュービクル設置者：